



2025年6月3日～6日

ブータン国民総幸福研究センター（ティンプー）主催、国際ヴァジラヤーナ会議

テーマ：「科学、マインドフルネス、瞑想」

当センターは2025年6月3日から6日まで、ブータンのティンプーにて、瞑想の実践と科学的研究に主眼を置いた「科学、マインドフルネス、瞑想」をテーマとする国際会議を開催します。本会議は、哲学者、瞑想指導者、スピリチュアル実践者、宗教関係者、神経科学者を含む様々な分野の科学者、瞑想やマインドフルネスの専門家を集め、上記テーマに関する深い知識を交換することを目的とした画期的な会合です。今回で国際ヴァジラヤーナ会議は開催5回目となります。瞑想、マインドフルネス、心の変容の技法は他の伝統にも等しく存在するため、本会議では、そうした多文化、多分野にわたる様々な領域の発表から新たな知見が得られることを目的としています。そのため、アフリカ、ラテンアメリカ、オーストラリア、アジア、ヨーロッパなどの世界各地における、宗教、非宗教、土着の伝統的文化などの知見も含め、様々な方面からの参加者の発表を募集しています。

4日間の会議では、本テーマに関する一連のデモンストレーションやプレゼンテーションが行われます。瞑想指導者たちによる、瞑想とマインドフルな生活に関する実践的なセッションも紹介されます。以下に「科学、マインドフルネス、瞑想」に関する募集発表論文のトピックを示しますが、以下に限らず、募集発表論文については、本会議のテーマに関連する限り、他のトピックの応募も歓迎します。

- ◆ **神経科学的研究**：神経可塑性と瞑想的実践、瞑想法の技術的モニタリング（EEG, fMRI、生体測定など）、脳半球の同期に対する瞑想の効果、脳における瞑想的吸収段階のマッピング、チャクラ瞑想とマントラ瞑想の科学的分析、瞑想と神経系、内なる火の呼吸と瞑想など。
- ◆ **AI**：瞑想研究とトレーニングにおける技術革新、アプリ主導型瞑想の有効性、疑似瞑想体験におけるバーチャルリアリティの可能性、修行の生体情報モニタリングと神経フィードバック、その他の秘教的修行の科学的検証など。
- ◆ **文化的・歴史的研究**：仏教の瞑想の実践が他の伝統に与えた影響あるいはその逆、密教の瞑想とハタ・ヨーガの比較研究、東洋と西洋を含む異なる文脈におけるマインドフルネスへのアプローチ、異なる伝統における瞑想の文化的意義、瞑想とマインドフルネスの起源と基礎、マインドフルな社会と社会的病理の軽減、マインドフルネスと瞑想の有無による組織とリーダーシップの関係性など。



- ◆ **心理学のおよび認知的影響**：健康における瞑想、マインドフルネスと創造性・革新性の関係、瞑想とマインドフルネスが幸福感に与える影響、感情的知性の構築における瞑想、嗜癖行動の克服における瞑想の役割、心理音響学とマントラ瞑想の関係、長期マインドフルネス実践者の主観的経験、家族環境とコミュニティにおけるマインドフルネスなど。
- ◆ **教育と健康**：教育および治療への応用、瞑想と医学への統合的アプローチ、学校カリキュラムや特別教育における瞑想プログラム、マインドフルネスと学習者のサポート、ストレス管理と対処スキルなど。
- ◆ **環境**：瞑想の空間、瞑想とマインドフルネスのための都市建築、瞑想とマインドフルネスにおける自然と景観の役割、瞑想中の衛生や食事と代謝率、長期瞑想中の身体と睡眠のルーティンなど。
- ◆ **倫理と意識**：瞑想研究における倫理的考察、明晰夢、ドリーム・ヨガ、瞑想と死、意識の研究における脳波、fMRI,その他の技術の限界、意識と高次の精神状態、教師と生徒の関係におけるパワー・ダイナミクス、瞑想と変性状態、マインドフルネスの商業化、ウェルネス産業における商業的共同利用など。

大会での発表を希望される方は、2025年3月31日までにアブストラクトを提出してください。論文発表は2025年4月30日までに申し込みください〔より詳細な情報は下記を御覧ください〕。論文発表はなく、参加のみ希望される方は、www.bhutanstudies.org.bt から直接お申し込みください。海外からの参加者は、大会4日間のケータリング、およびレセプション費用としてUS\$350を支払ってください。お支払いは、センターがビザを発給する前までに済ませてください。

お問い合わせ先：

bhumedcon@gmail.com

www.bhutanstudies.org.bt

重要な情報

➤ スケジュール

1. 参加者登録：25 March 2025
2. アブストラクト提出：28 February 2025
3. ビザ申請：31 March 2025
4. アブストラクト審査通知：15 March 2025
5. ドラフト論文提出：30 April 2025

➤ 参加登録

1. 登録は大会ホームページからオンラインで行ってください。



2. 海外からの参加者は、大会登録料として 350 米ドルをお支払いください。参加費をお支払いいただいた時点で、登録が完了します。
3. 参加登録の最終期限： 25 March 2025

➤ **アブストラクト**

1. 論文の内容は、上記のテーマに沿ったものでなければなりません。
2. 論文は、他の学会等で発表されていないオリジナルなものでなければなりません。
3. 要旨は、題目、著者名、所属、背景、目的、方法、主要な結果、結論を含み、300 ワード以内で提出してください (APA スタイル)。
4. 使用言語は英語、またはゾンカ語、あるいはチョーキー語とします。
5. アブストラクト提出の最終期限： 28 February 2025.
6. アブストラクトは、3 名以上のメンバーで構成されるチームにより審査されます。
7. アブストラクトの採否通知： 15 March 2025.
8. 論文は 2 名以上の共著であってはなりません。
9. 採択された投稿要旨は、事前に参加者全員に配布される大会パンフレットに掲載する予定です。

➤ **フルペーパー**

1. 講演者は APA スタイルで論文を事前提出してください。
2. 草稿論文の提出期限： 30 April 2025.
3. 期限内に草稿論文を提出できなかった場合、不完全な原稿を提出した場合、また承認されたアブストラクトから大きく逸脱した原稿を提出した場合は、発表が取り消されることがあります。
4. 発表の最終論文は、会議終了後 2 か月以内に提出してください。本会議プロシーディングスに掲載します。

➤ **ビザ**

1. 参加者は当センターの公式ゲストとして受け入れられ、ブータン王国政府が会議への参加を許可するため、一日あたり US\$ 1 0 0 の持続可能な開発料 (Sustainable Development Fee) を免除いたします。
2. インド、バングラデシュ、モルディブ国籍の方のビザは不要です。入国の際に入国許可証が発行されます。入国許可証の申請には、パスポートのコピーが必要です。
3. 扶養家族、配偶者、パートナーには、会議ビザは発給されません。
4. ブータンでの滞在許可は 10 泊までとなります。
5. ルート許可証は発行されません。パロとティンプーを越えて移動する場合は、ルート許可証が別途必要になります。
6. ビザ申請に必要な書類は以下の通りです。
 - a. 有効なパスポートのコピー
 - b. 記入済みのビザ申請書
 - c. ビザ申請用紙は下記からダウンロードしてください。
<https://www.mfa.gov.bt/wp-content/uploads/2014/07/bhutan-visa-application-form.pdf>
7. ビザ申請書の提出期限： 31 March 2025.



8. ビザ発給許可証のソフトコピーを電子メールでお送りします。
9. 入国審査の際、査証発給許可書の提示が求められます。入国審査の際には、査証発給許可証のハードコピーを携帯してください。

➤ **講演者のためのロジスティックスについて**

1. 講演者には、大会期間中、現地での宿泊、食事、交通手段が提供されます。ただし、これは大会期間中の4日間のみとなります。
2. 早く到着した場合、あるいは滞在を延長する場合（ビザが承認された期間内）は、現地において御自身で手配してください。

➤ **講演者以外の参加者について**

1. 履歴書のコピーを提出してください。ビザの手続きは履歴書が受領されてから開始します。
2. ブータンへの渡航が会議出席を主目的とするものではないと組織運営委員会が判断した場合、主催者はビザの発給を拒否、または取り消します。
3. 講演者以外の参加者は、宿泊、食事、現地での交通手段を各自で手配してください。ただし、会議中につきましては、軽食と昼食をご用意いたします。

➤ **会議中の食事について**

1. 大会期間中、参加者全員に昼食が提供されます。また休憩時間にはお茶とコーヒーの用意があります。
2. 6月2日の夜には、ブータン王国政府主催の歓迎夕食会が開催されます。海外からの参加者とブータンの会議関係者が招待される予定です。